

9月1日は「防災の日」



地震災害から 身を守るために ～安全対策と避難行動～

★いざという時のため、市の災害情報伝達アプリ・メールを登録しましょう。

防災情報伝達アプリ (スマートフォン)		災害情報メール (フィーチャーフォンガラケー等)
iPhoneの場合 (App Store)	アンドロイド Androidの場合 (Google Play)	下のQRコードにアクセスするかkanuma@entry.mail-dpt.jpへ空メールを送信してください。

危機管理課危機管理係 ☎(63)2158

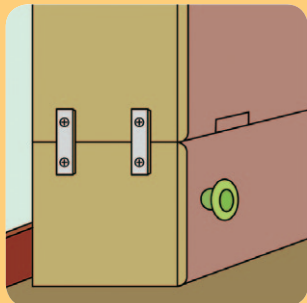
① 地震災害から命を守るためには～事前の安全対策～

地震は前触れもなく突発的に発生します。大地震が発生してから対策をとっても間に合いません。皆さんや皆さんの大切な人の命を守るためには、家の中を一番安全な場所にしておく必要があります。

POINT 1 家具は固定されていますか？



▲L字金具で固定
壁裏の柱の位置を確認してからねじ留めしましょう。

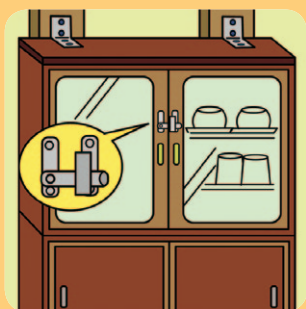


▲連結金具で固定
二段重ねの家具の場合は、上下の家具を連結しましょう。



▲ポール式やマット式で固定
天井に強度がない場合はL字金具で固定しましょう。マット式を併用することで強度が高まります。

POINT 2 家具内の収容物やガラスが割れたり、物が落下したりする危険はありませんか？



◀扉開放防止器具で固定
器具には留め金式、ロック式など、さまざまなタイプがあるので、使い易さと安全性が両立したものを選びましょう。

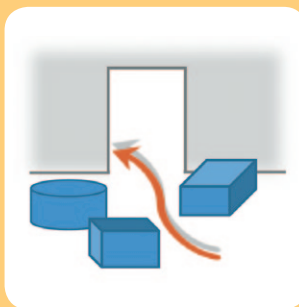


◀高いところに物を置かない
置く場合は、落下防止対策をしましょう。
◀飛散防止フィルムで防ぐ
ガラスの飛散や、棚の収容物の飛び出しを防ぎましょう。ガラスの両面に貼ると効果が高くなります。

POINT 3 家具が倒れてきても大丈夫なようになっていますか？



◀寝ている位置に倒れてこないように、家具を配置し安全な空間を確保しましょう。



◀家具が倒れてもドアが開くように、避難経路を確保しましょう。

②地震が発生したときの避難行動

大地震が発生しても慌てず、落ち着いて冷静に行動することが重要です。災害時には、一瞬の判断が生死を分けることもありますので、いざというときのために避難行動を確認しましょう。

緊急地震速報

緊急地震速報が携帯電話やテレビなどで流れてきたら...



◀ ドアを開けて避難経路を確保しましょう。



◀ 揺れ出す前に、素早く火の始末をしましょう。

※火元から遠い場合、急いで火を消そうとすると、熱したやかんや鍋などをひっくり返してしまう危険もあります。無理をせず揺れが収まってから、火を消しましょう。

地震発生



◀ 机の下に隠れるなど、自分の身を守りましょう。



◀ 建物や塀、電柱などから離れ、手荷物などで頭を守り広場などへ移動しましょう。

地震発生直後

揺れが収まったら...



◀ 家の中にいる家族の安否を確認し、非常持出袋を用意するなど、避難の準備をしましょう。



◀ 火災が発生した場合は、大声で知らせ、協力して初期消火をしましょう。

避難所へ

避難所へ向かう前に...



◀ 二次災害を防ぐため、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めてから家を離れましょう。



◀ 近隣の一人暮らしの高齢者世帯や支援が必要な世帯に声を掛け、できるだけ地域で協力して、一緒に避難所へ向かいましょう。

確認しましょう わが家の耐震診断



建築指導課建築指導係 ☎(63)2242

●「誰でもできるわが家の耐震診断」

お住まいの住宅が、地震に対してどのくらい安全性があるかについて、一般社団法人日本建築防災協会が作成した「誰でもできるわが家の耐震診断」(右QRコード)で、自己診断ができます。自己診断の結果、少しでも不安があったら、是非、専門家による耐震診断を受けましょう。



●市による無料耐震診断

市では、職員がご自宅に伺って、目視で外観や壁の配置を確認する簡易的な耐震診断を無料で行ってまいりますので、併せてご利用ください。詳しい内容は、市ホームページ(右QRコード)にも掲載していますので、ご覧ください。

